

10秒でピタッ！ストップウォッチ代表選手権！

単 元	資料の活用	対象学年	1 年
ね ら い	ストップウォッチで10秒ぴったりを狙って止める活動から、誰が最もその代表にふさわしいか値から考え、資料を活用する力を身につける。		

1 準備するもの

教師：ストップウォッチ，ワークシート
生徒：電卓



2 学習のしかた

- (1) グループごとにストップウォッチを配る。
- (2) 10秒ぴったりを狙って、止める活動を20回行い、結果を記録する。
- (3) 活動結果を度数分布表にまとめる。
- (4) グループで話し合いをし、グループの代表を決める。(選ぶ観点はグループで決める)

予想される生徒の考え

「平均が10秒に近いからAくんが代表がいいね」
「10秒ぴったりがあるからBさんが代表だ」
「10秒はないけれど、10秒近くはCさんが多いよ」など。

- (5) ヒストグラム，度数分布多角形，相対度数などのグラフでの資料の表し方の学習をする。
- (6) 平均値，中央値，最頻値，範囲など，資料を代表する値，散らばりを示す値について学習をする。
- (7) 学習したことを利用して，もう一度グループの代表について考える。

予想される生徒の考え

「平均値が10秒に近くても，代表にしない方がいいかもな」
「平均値が10秒に近くても，10秒に近い記録は少ないこともあるな」
「平均値よりも最頻値をもとに代表に決めた方がいいな」
「10秒ぴったりがあっても，他の資料も考えないといけないね」
「値だけではなく，値の散らばりも考える必要がある」
「資料の範囲が小さいから安定した記録が出るな」など。

- (8) グループで代表者を決めて，ストップウォッチ代表選手権を開催する。

3 学習上の留意点

- ・同じ位を測定できるストップウォッチを用意する。
- ・結果の値が散らばりすぎないように，はじめにストップウォッチの使い方を練習する。